

令和4年度（2022年度）実施

姫路市消防吏員採用試験案内

消防Ⅱ（短大・高校卒業程度）



- ◆ 試験日 9月18日（日）
- ◆ 受付期間 8月22日（月）～8月27日（土）
8時35分から17時20分まで
- ◆ 試験会場 姫路市立飾磨高等学校
- ◆ 受験申込先

姫路市防災センター 3階
姫路市消防局総務課 人事労務担当
〒670-0940 姫路市三左衛門堀西の町3番地
電話番号 079-223-9507（直通）



職種・採用予定人員・受験資格

職種	採用予定人員	受験資格		
消防士	7名程度	消防Ⅱ (短大・高校卒業程度)	平成13年(2001年)4月2日から平成17年(2005年)4月1日までに生まれた人	次の各号に該当する人 (1) 視力 両眼とも視力1.0以上 (矯正視力を含む。) (2) 準中型自動車(車両総重量3.5トン以上7.5トン未満)を運転できる免許(5トン未満限定準中型自動車免許は不可)を取得している人又は採用後2年以内に免許取得可能な人。 (3) その他、身体の機能に異常がないこと。

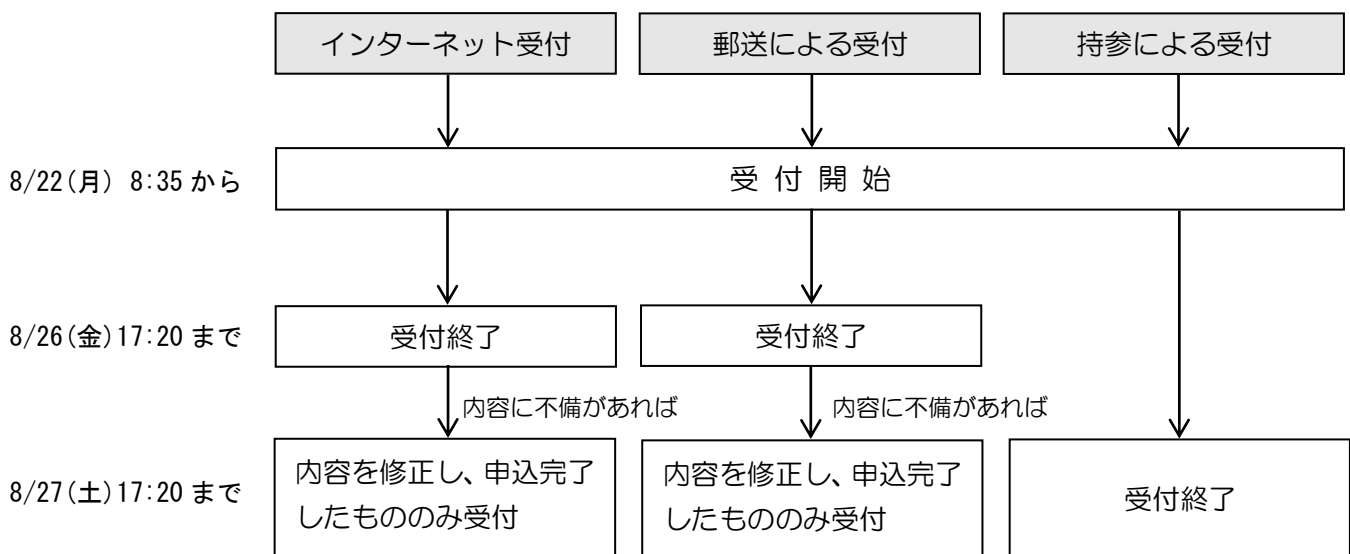
地方公務員法第16条(欠格条項)に該当する人は、受験できません。

※ 欠格条項

- (1) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (2) 姫路市職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
- (3) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

受験手続

3つの申込み方法と受付完了までの流れ



インターネットによる申込み

■ 申込方法と受付期間

申込方法	「兵庫県電子申請共同運営システム」を利用して、インターネットにより受験申込みができます。姫路市ホームページの「姫路市消防吏員採用」のページにアクセスして、画面の指示に従って申し込んでください。
受付期間	8月22日（月）8時35分～8月26日（金）17時20分（受信完了分有効） ※申込み内容に不備がある場合は8月27日（土）までに内容修正を行い、「受付通知」メールを受信したものに限り申込みを有効とします。

- 注1 上記申込みとは別に、エントリーシートを本人自筆により記入し、第1次試験日（9月18日）に持参してください。なお、エントリーシートは姫路市ホームページからダウンロードできます。
- 2 申込みは必ずパソコンから行ってください。（スマートフォン、携帯電話には対応していません。）
- 3 申込みが行われた場合、「到達通知」のメールを登録されたメールアドレス宛てに送付します。なお、メール受信制限を行っている場合、「aut-hyogo@elg-front.jp」からのメールを確実に受信できるようにしておいてください。メールの受信が確認できない場合は、姫路市消防局総務課人事労務担当まで連絡してください。
- 4 最終日は、システムが混み合うことなどにより、申請に時間がかかることがありますので、余裕をもって早めに申込手続きを行ってください。
- 5 パソコンの環境等により利用できない場合があります。詳しくは、「兵庫県電子申請共同運営システム」の動作環境についてのページ
<http://www.shinsei.elg-front.jp/hyogo/www/guide/environment.html> で確認してください。
- 6 使用されるパソコンの機種や通信回線上の障害等によるトラブルに関しては、一切責任を負いません。
- 7 システム管理等のため、一時的に利用できない場合があります。

持参・郵送による申込み

■ 必要書類

受験申込書	本市所定のもの（自筆により記入し、写真を貼付のこと。）
受験票及び試験結果通知書	本市所定のもの（写真を貼付のこと。） ※宛先は、10月中旬に確実に受験者本人まで届く住所を記入
受験票返送用封筒（※郵送の場合のみ）	返送先を明記し、84円切手を貼った長形3号の封筒

- 注1 上記必要書類に所定事項を記入し、姫路市消防局総務課人事労務担当（姫路市防災センター3階）まで持参又は郵送してください。なお、受験に際しての提出書類は返却いたしません。
- 2 写真（縦5cm×横4.5cm、正面、上半身無帽、申込前3月以内に撮影したもの。）を上記の**受験申込書及び受験票**に貼って提出してください。なお、**写真は同じもの**を使用してください。
- 3 インターネット等により受験申込書、受験票及び試験結果通知書送付用ラベルをダウンロードした場合は、**白色でA4サイズの紙に印刷し、本人の自筆により記入の上、写真を貼ってください。**

■ 受験申込

受付期間	（持参）8月22日（月）～8月27日（土）8時35分～17時20分
	（郵送）8月22日（月）～8月26日（金）17時20分 必着
受付場所	姫路市防災センター3階 総務課人事労務担当

第 1 次試験

■ 日 時

令和 4 年 9 月 18 日（日）午前 9 時 00 分から

※教養試験の事前説明や試験当日の流れを説明しますので、**8 時 45 分に集合**してください。
（時間厳守、原則として遅刻は認めません。）

■ 試験会場（後頁の地図参照）

姫路市立飾磨高等学校

姫路市飾磨区妻鹿 6 7 2（学校及びその周辺への自動車の乗り入れは禁止します。）

■ 試験当日（9月18日）持参するもの

- 1 受験票（持参しない人は受験できないことがあります。）
- 2 エントリーシート（本人自筆により記入すること。）
- 3 筆記具（鉛筆、消しゴム）
- 4 上ばき、体育館シューズ、運動のできる服
- 5 昼食（外食はできませんので、弁当及びお茶を持参してください。）
- 6 飲料水（身体・体力試験時の水分補給用）

※ **必ずマスクを着用**してください。また、**試験当日の朝に必ず体温を測定し、受験票の右上に測定した体温を赤字で記入**してください。

■ 試験種目

種 目	出題形式	時 間	試 験 内 容
教養試験	択一式	120 分	時事、社会・人文、自然に関する一般知識 及び 文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する一般知能
身体・体力試験			・握 力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・反復横とび ・立ち幅とび ・持久走等 から当日指定する
口述試験			個別面接

■ 第 1 次試験の結果

10 月上旬から中旬（予定）に受験者全員に通知します。

なお、姫路市ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

第 2 次試験

■ 日時及び試験内容

試験予定日	種 目	試 験 内 容
10 月下旬 ～ 11 月上旬	適性検査	職務遂行に必要な適性についての検査
	口述試験	個別面接

注 試験日時等の詳細については、第 1 次試験の合格者のみにお知らせします。

■ 提出書類

- 1 卒業（見込）証明書
- 2 身体検査書（第 1 次試験合格者に別途送付します。）

■ 第 2 次試験の結果

11 月上旬から中旬（予定）に受験者全員に通知します。

なお、第 1 次試験同様、姫路市ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

また、補欠合格を決定する場合があります。補欠合格者は、第2次試験合格者の辞退等により採用予定人員に欠員が生じた場合に限り、成績順に繰上げ合格を決定します。

試験結果の開示

この試験の結果については、姫路市個人情報保護条例第24条第1項の規定により、開示請求をすることができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験者本人であることを明らかにする書類（受験票、運転免許証、旅券等）を持参のうえ、受験者本人が直接請求してください。

試験区分	請求できる人	開示内容	開示期間	請求先及び開示場所
第1次試験	不合格者	総合得点、総合順位 及び合格最低総合得点	合格発表の日 から1ヵ月間	姫路市消防局総務課 (姫路市防災センター3階)
第2次試験		総合順位		

給 与

■ 初任給

初任給は、採用時の経歴に応じて決定されます。2年制短大卒業者の初任給は、約184,300円、高校卒業者の初任給は、約170,000円（令和4年4月1日現在、地域手当含む）です。

■ 諸手当

地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等がそれぞれの規定に基づいて支給されます。

■ 昇給

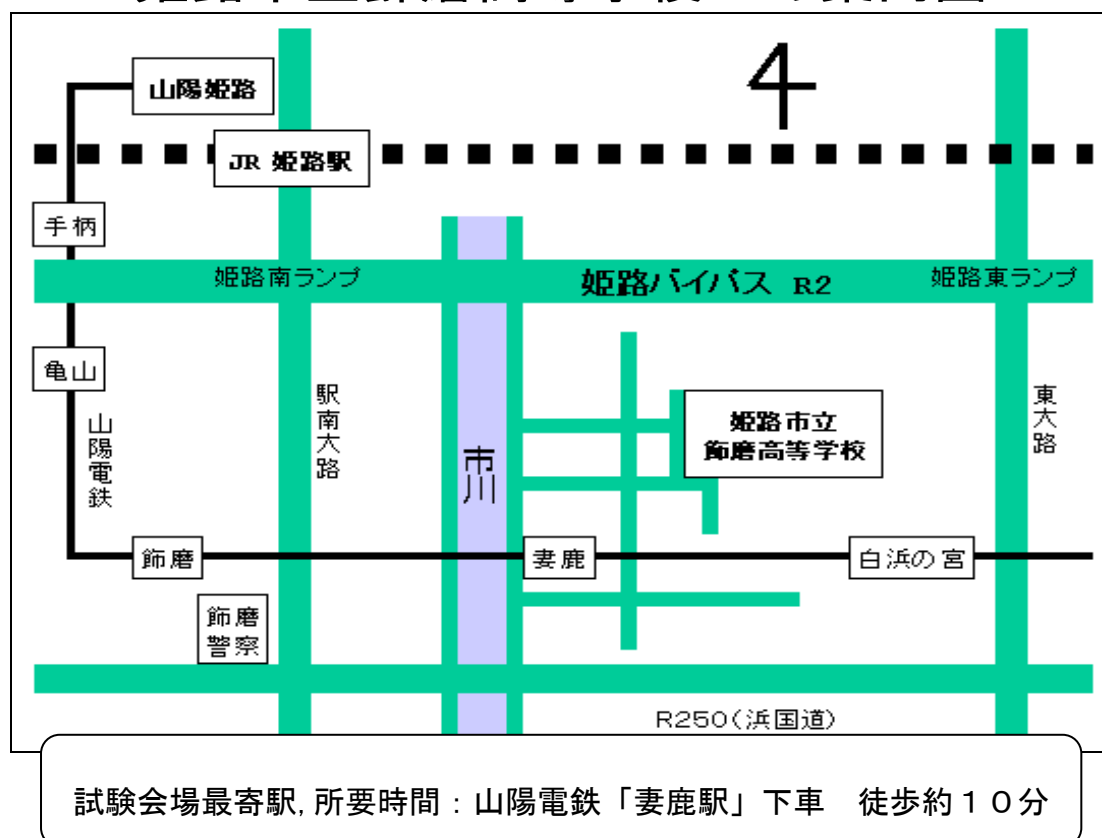
通常の場合、年1回昇給します。

■ 休暇等

年次有給休暇の他に、夏季休暇、結婚休暇、子の看護休暇、短期介護休暇、育児休業等の各種休暇・休業制度があり、安心して働くことのできる環境を整えています。

試験会場

姫路市立飾磨高等学校への案内図



過去5年間の試験実施結果（短大、高校卒業程度）

		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度から短大卒 と高卒の区分を統合	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
業 程 度 短 大 卒	受験者数	11	8	7		49	52
	合格者数	0	1	2		6	7
	競争倍率	—	8.0	3.5		8.2	7.4
業 程 度 高 校 卒	受験者数	24	29	15		—	—
	合格者数	5	2	5		—	—
	競争倍率	4.8	14.5	3.0	—	—	

採用後の主なスケジュール

■ 4月 消防学校入校



ここからみなさんの消防人生がスタートします。

■ 4月～9月 消防学校での生活



消防学校では、消防士として必要な体力や精神力を身につけます。

また、火災や救助など、実際の災害を想定した訓練を行い、災害現場で即戦力として活動できるよう、知識や技術を養います。

■ 9月 査閲



消防学校生活の最後には、半年間の集大成として、両親等見学のもと、各種訓練をお披露目します。

■ 10月～ 各消防署に配属



消防学校卒業後は、市民のみなさんを守る一人前の消防士として、実際の災害現場で活動します。



よくある質問とその答え



質問	回答
<p>消防士の勤務時間は？</p>	<p>姫路市消防局では、隔日勤務と毎日勤務の勤務体制があります。</p> <p><隔日勤務> 隔日勤務とは、9時00分から翌日9時00分までの24時間勤務のことを言います。 24時間勤務が終わった後の非番では、残業が発生することもあります。基本的には自宅等に戻って体を休めることができます。 また、非番とは別に、公休もシフト制で割り当てられます。</p> <p><毎日勤務> 毎日勤務とは、8時35分から17時20分までの間に働く勤務のことを言います。 消防局本部の職員、各消防署の予防担当や庶務担当などが毎日勤務をしています。</p>
<p>入る前に何か資格は必要なのですか？</p>	<p>準中型自動車（5t未満限定は不可）運転免許を取得してください。採用日までに取得できない場合は、採用後2年以内に取得して下さい。</p> <p>また、採用後は各種資格や研修制度、技術認定試験が充実しており、キャリアアップ制度も多種多様です。</p>
<p>女性消防士の方はどんな業務をしているのですか？</p>	<p>姫路市消防局では、消防隊員や救急隊員として災害現場で活動するほか、広報や議会対応、予算編成などの総務業務、事業所の防火管理体制の立入検査などを行う火災予防業務、119番通報の受付や各部隊への出動指令を行う通信指令業務など、さまざまな分野で活躍しています。</p>
<p>救急隊員になりたいのですが・・・</p>	<p>救急隊員になるためには、まず、消防吏員として採用されなければなりません。一般的には消防吏員に採用後、消防学校で初任教育を受けます。その後、専科教育の救急科を修了し、救急隊員の資格を修得してはじめて、救急隊員として救急車に乗務することができます。</p> <p>さらに、救急救命士になるためには、救急隊員として実務経験を積み、救急救命士の養成課程を受講し、国家試験に合格することが必要となります。</p>
<p>レスキュー隊員になりたいのですが・・・</p>	<p>レスキュー隊は、通常の消防部隊では対応できない困難な救助や大規模災害に対応するため、様々な技術や知識、資格を持つ隊員で構成されています。配置される隊員は、個々の能力や適性等を考慮した人事異動によって決まります。</p>



みなさんのご応募、お待ちしております！

